【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2009-21106(P2009-21106A)
【公開日】平成21年1月29日(2009.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2009-004
【出願番号】特願2007-182996(P2007-182996)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　2/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　2/10　N
Ｈ０１Ｍ　2/10　M

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月8日(2010.7.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電池が収納される電池室を有する電子機器であって、
前記電池室内に、弾性を有し、前記電池室に収納された電池の電極面に接触する導電部材と、
該電池の電極面を受ける電池受け部材とを有し、
前記電池受け部材は、前記電池室から突出形成されているものであって、前記電池受け部材の突出量は、前記電極面が接触した前記導電部材の弾性変形量が弾性限界を超えないように、設定されていることを特徴とする電子機器。
【請求項２】
前記電池受け部材は、前記電極面における前記導電部材との接触領域よりも内側の領域を受けることを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項３】
前記電池受け部材は、前記導電部材が弾性変形してから前記電極面に接触することを特徴とする請求項１又は２に記載の電子機器。
【請求項４】
前記電池受け部材は、前記電池室を形成する部材に一体形成されていることを特徴とする請求項１から３のいずれか１つに記載の電子機器。
【請求項５】
前記電池受け部材は、前記導電部材に取り付けられており、
前記電池の凸電極面と前記導電部材との接触を許容する接触許容部と、前記電池の平電極面と前記導電部材との接触を阻止する接触阻止部とを有することを特徴とする請求項１から４のいずれか１つに記載の電子機器。
【請求項６】
前記接触阻止部は、前記凸電極面と前記導電部材が接触するときは、前記電池における前記凸電極面よりも外周の部分に当接しないことを特徴とする請求項５に記載の電子機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の一側面としての電子機器は、電池室内に、弾性を有して電池室に収納された電池の電極面に接触する導電部材と、該電池の電極面を受ける電池受け部材とを有する。そして、電池受け部材は、電池室から突出形成されているものであって、電池受け部材の突出量は、電極面が接触した導電部材の弾性変形量が弾性限界を超えないように、設定されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】